

## 一般質問

6月定例会では、6月26日から7月2日までの5日間にわたって、会派代表質問(6人)及び個人質問(13人)が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回は、会派代表質問について会派ごとに1項目から2項目、個人質問について会派ごとに1議員1項目ずつ計25項目を掲載しております。

## (代表質問)

## 市民クラブ

## ● 施政方針

**議員** 施政方針のあり方について伺いたい。

**市長** 長崎市の施政方針については、市長の改選期の年においては、改選後の6月市議会において、所信の表明や市政全般の運営方針を述べさせていた

だいている。今回の施政方針に当たっては、私の初めての施政方針ということもあり、市長選への立候補に当たったのまちづくりへの思いや市政の進め方、市政に臨む基本的なスタンスについて私の考えを述べさせていただいた上で、まちづくりにおける基本的な考え方や平成19年度の新たな取り組みについて説明させていただいた。

今後、市政運営を着実に進める中で、

議会を初め多くの皆様方のご意見やご提案をいただきながら、まちづくりにおける6つの視点を柱に、私なりの手法や考え方に基づく新たな施策や事業を展開していきたい。

## ● 行政改革

**議員** 行政改革について伺いたい。

**市長** 激しく変化する時代の真ただ中であって、新たな行政需要に的確に対応するためには、市役所みずからも変革する必要がある。したがって、行政運営全般についてあらゆる角度から検証し、今の時代に対応した組織体制や事務事業の見直しを図るとともに市役所の職場風土を活性化させるため、職員のやる気と意欲を引き出していきたい。

また、現行の第四次行政改革大綱や第2次財政構造改革プランについては、前市長の思いを受け継ぎ、これらの計画に掲げられている実施項目を着実に推進していきたい。

これらにより、簡素で効率的な業務の執行体制を整備し、市民力と職員力を生かしながら地方分権時代に適応した都市経営を進めていきたい。

## 自由民主党

## ● 安全・安心なまちづくり

**議員** 安全・安心なまちづくりの基本的な考え方と取り組みについて伺いたい。

**市長** 地域の安全・安心なまちづくりについては、地域コミュニティの拠点である自治会の協力を初め、警察との連携はもとより、「長崎市安全・安心まちづくり推進協議会」及び庁内の「安全・安心なまちづくり推進本部」で協議を行っている。さらに、今回の前長崎市長射殺事件を受け、市議会議長とともに上京し、国家公安委員長及び警察庁長官に銃器・暴力団対策の徹底や安全・安心なまちづくりの推進を求める請願書を手渡したところである。

また、地域の取り組みとして「小学校区子どもを守るネットワーク」は現在、市内73小学校区に設置され、他都市に例を見ない活動となっている。

今後、地域における安全・安心なまちづくりの具体的な課題の検証と解決に向けて引き続き協議を進め、実効性のある施策を見出していきたい。

## ● 「市民力」「職員力」

**議員** 田上市政のキーワード「市民力」「職員力」について伺いたい。

**市長** 市民力という言葉は、地域の課題を解決するための仕組みや主体がいろいろあるまちを指そうということと呼びかける意味で使っている。

今後、既存の市民活動への支援やネットワーク化を図ることで地域の課題の解決が促進されるような新たな活動が生まれたり、人材が育っていったりするのはないかといったことを市民力向上検討会議を設置し市民の皆様とともに考えていきたい。

職員力については、まさに自前で政策を立て、市民と協働で仕事を進める時代にふさわしい職員の育成が急務となっており、人事管理の計画的運営や風通しのよい職場風土の醸成など、いくつかの視点から総合的な対策を検討する必要があると考えている。

## 自民明政クラブ

## ● 老人交通費助成事業

**議員** 老人交通費助成事業の検討状況について伺いたい。

**市長** 老人交通費助成事業における対象者の上限年齢撤廃は、高齢者の皆様の社会参加を促進するという点で十分理解できるものと考えている。しかし、現行の80歳の年齢枠を撤廃し70歳以上の方全てを支給対象とすると、平成19年度予算ベースで約1億2千5百万円の財源が必要となる。

財源の確保については本市の非常に厳しい財政状況もあり、スクラップ・アンド・ビルドの考え方によりその財源の一部とするため、長寿祝金の77歳と88歳部分を廃止するなどの手法について検討結果の報告を所管部から受けている。

今後は庁内のさまざまな部局の意見を集め、協議を経て、最終的に判断していきたい。